

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第2グループ(住吉・井田)	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H28		H29		H28		H29		
	1 住吉こども文化センター ①年間延べ利用者数	31,739人	30,767人	②年間延べ利用団体数	195団体	187団体			
2 住吉小学校わくわくプラザ ①登録者数	251人	259人	②年間延べ利用者数	15,124人	16,965人				
3 東住吉小学校わくわくプラザ ①登録者数	247人	264人	②年間延べ利用者数	16,080人	17,330人				
4 今井小学校わくわくプラザ ①登録者数	423人	458人	②年間延べ利用者数	29,626人	30,647人				
1 井田こども文化センター ①年間延べ利用者数	38,574人	38,558人	②年間延べ利用団体数	155団体	149団体				
2 井田小学校わくわくプラザ ①登録者数	400人	397人	②年間延べ利用者数	22,289人	25,836人				
3 下小田中小学校わくわくプラザ ①登録者数	459人	463人	②年間延べ利用者数	21,415人	22,912人				
収支実績	単位:円								
1 収入 指定管理料			118,367,596						
2 支出 人件費			103,265,472						
管理費			7,775,685						
事務経費			5,444,637						
その他経費			7,039,599						
合計			123,525,393						
3 差引			-5,157,797						
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	3	6
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・第1・第2グループ合同事業として、川崎市立橋高等学校と連携し「橋高校吹奏楽コンサート」を実施した。新たな取組として、高校生と参加者の交流を目的とした記念撮影会や楽器とのふれあいコーナーを新設するとともに、参加者の枠を幼児から高齢者まで拡大し、多世代交流や地域交流を促進した。また、羽根つきやわなげをゲーム形式で行う「新春むかしあそびゲームラリー」などを実施した。 ・住吉こども文化センターでは、乳幼児親子世帯の転入が多い地域特性に対応し、乳幼児親子の交流を促進させるため、昨年実施した「サロン・DE・ベビー」の開催時間を延長して実施したことにより、参加者が大幅に増加した。 ・今井小学校わくわくプラザでは、子ども運営会議の意見を反映し、「ミニ運動会」を実施した。学年を混ぜて構成されたチームで競い合い、協力する大切さを学ぶとともに、異学年交流が促進された。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
(評価の理由) ・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通じて、利用者ニーズ把握に努め、購入図書の設定等に利用者意見を反映しているとともに、苦情等への対応が適切に行われている。井田こども文化センターでは、ドッジボール大会等、人気行事と子ども運営会議を同じ日に設定し、より多くの子どもたちが意見交換出来る機会を設けている。また、住吉こども文化センターでは、意見箱に寄せられた意見から、地域ボランティアと相談して「パパとベビーマッサージ」を開催し、参加した乳幼児親子からも好評で、乳幼児親子の利用促進に繋げることもできた。 ・特別な配慮を要する利用者への対応として、個別連絡ノートによる保護者との情報共有を行うとともに、小学校や児童コーディネーター等と連携しているほか、「特別な支援を必要とする児童への対応研修」を受講し、スタッフ間で共通理解を深めるなどの取組をしている。特に、下小田中小わくわくプラザでは、研修内容を参考に、言葉での指示の理解が難しい児童のために、視覚情報カードを作成して、円滑なコミュニケーションを取れるようにした。 ・学校及び行政機関との連携について、学校施設開放委員会や学校行事の参加に加え、中学生の職業体験を受け入れ、介護老人保健施設や保育園への交流訪問を行い、地域交流を促進した。特に、井田小学校わくわくプラザでは、新たに井田老人いこいの家と連携し、老人いこいの家を訪問して、川崎市立橋高等学校ダンス部の指導を受けたダンスの練習成果を披露するほか、ちいさくっず役立ち隊の活動として、老人いこいの家の植え込み等の清掃活動を実施したことで、高齢者や職員との多世代交流が図られた。 ・施設・事業の広報について、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて積極的な広報を行っているとともに、特に、井田こども文化センターでは、中高生だよりを年2回発行するなど、対象年齢を捉えた広報を行った。 ・井田こども文化センターでは、「サンクスフェスタ」等運営協議会共催行事の開催に向けて、運営協議会を年4回実施するとともに、協議会の他にも打ち合わせを複数回実施した。					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8	
	職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。				
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。</li> <li>職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修が行われていた。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しており、研修資料やレポートをファイルに一元化し、職員が閲覧出来る等共有化の仕組み作りが出来ている。特に、グループ研修として、保育士を講師として、「遊びの研修」を実施し、体操や集団ゲームの進め方等を学び、わくわくドキタイムの充実を図った。</li> <li>個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	4	4
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。また、住吉こども文化センターでは、男子トイレの洋式化や洗面台の改修により利用者の使いやすさの向上が図られた。</li> <li>利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。</li> <li>防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。</li> <li>安全マップ・防災マップを作成するにあたり、行政や学校、地域に協力を得るとともに、幼児サークルと合同の避難訓練を行うなど、地域団体等と連携して取り組んでいる。</li> </ul>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭管理・会計手続については、適正に行われている。</li> <li>受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している。市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かし、全グループ合同行事、区合同行事等に加え、各館独自の事業も行い、豊富な行事を行った。また、地域特性を把握するとともに、利用者の声をよく聴き、施設の運営に活かしている。「橘高校吹奏楽コンサート」、「サロン・DE・ベイビー」、「親子で遊ぼう」など、地域との連携による行事や利用者のニーズに即した行事を実施している。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子ども顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。